感染制御部
Department of Infection Control and Prevention

詳細はこちら

部長
かけや　ひろし
掛屋　弘



専門
感染症専門医

スタッフ

副部長　しばた　わたる　**柴多　渉**
【専門】 感染症専門医

講師　いもと　わき　**井本　和紀**
【専門】 感染症専門医

保健副主幹　にき　まこと　**仁木　誠**
【専門】 感染制御認定臨床微生物検査技師

主査　おかだ　やすよ　**岡田　恵代**
【専門】 感染管理特定認定看護師

主査　みょうどう　ゆか　**明堂　由佳**
【専門】 臨床検査技師

業務内容・特徴

感染防止対策や抗菌薬適正使用を推進するために、ICT（感染制御チーム）活動、院内感染症コンサルト、AST（抗菌薬適正使用支援チーム）活動等を行なっています。

ICT 活動では、①感染情報の解析・管理、②院内感染症のサーベイランス（薬剤耐性菌や各種ターゲットサーベイランス）、③アウトブレイク時の対応、④診療現場の現状把握と感染防止に関する指導（ラウンドの実施）、⑤職員への感染防止対策に関する教育と啓発、⑥感染防止対策マニュアルの改訂および感染対策ガイドラインの作成、⑦職業感染防止対策、⑧ファシリティー・マネージメントを行なっています。また、院内感染症コンサルトでは診療科からの依頼に基づき感染症の治療や感染対策等総合的な感染症コンサルトを実施、AST 活動では患者さんの菌検出状況や抗菌薬使用状況を把握し、支援が必要な事例については病棟ラウンドを行って直接主治医に感染症の診断と治療のアドバイスを行っています。菌血症の死亡率低下、抗菌薬の使用日数の短縮等につなげています。

取り組み

院内での活動以外に地域における感染対策支援活動として、感染対策向上加算 1 届出 10 施設と連携し、カンファレンスや相互チェックを、当院と連携している同加算２、３届出施設とも定期的に感染制御に関するカンファレンスや研修会、ラウンド等を実施しています。また、大阪市感染対策支援ネットワークでは中心的な役割を担い、地域医療機関や社会福祉施設の感染対策を支援するために、大阪市保健所と連携して研修会やラウンド、アウトブレイク発生時の支援等を行なっています。

新規技術・医薬品審査部
Department Evaluation of Highly Difficult New Medical Technologies and New Unapproved Drugs

詳細はこちら

部長・医療機器安全管理責任者
まえだ　きよし
前田　清



専門
消化器外科学教授

スタッフ

薬剤部長　なかむら　やすたか　**中村　安孝**
【専門】 薬剤師・医薬品安全管理責任者

講師　しばた　わたる　**柴多　渉**
【専門】 感染症内科副部長

保健主幹　まつお　みつのり　**松尾　光則**
【専門】 臨床工学技士

保健副主幹　むらた　みか　**村田　美香**
【専門】 薬剤師

業務内容・特徴

「高難度新規医療技術」（今まで当院で実施したことのない医療技術であってその実施により患者の死亡その他の重大な影響が想定されるもの）や、「未承認新規医薬品等」（国内での使用が承認されていない医薬品や高度管理医療機器、保険適応外の医薬品・検査・治療等）を用いた医療の提供について以下の業務を実施しています。

1.「高難度新規医療技術」、「未承認新規医薬品等」を用いた医療の提供可否の決定
2.「高難度新規医療技術評価委員会」、「未承認新規医薬品等評価委員会」の運営
3. 有害事象の把握、実施条件の遵守状況の確認
4. 各診療科等から提出される申請のチェック
5. 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等に関する情報発信
6. 臨床経過のモニタリング　など

当部門の特徴として、特定機能病院の承認要件に求められている「高難度新規医療技術評価委員会」と「未承認新規医薬品等評価委員会」に加え、「高難度新規医療技術審査会」、「未承認新規医薬品等審査会」を開催して慎重に審査をしています。

承認件数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
高難度新規医療技術	8 件	4 件	7 件	5 件	4 件	4 件
未承認新規医薬品等	21 件	17 件	14 件	17 件	34 件	44 件